教える 伝える

日舞で学ぶ伝統の振るまい

小雨も大雨も、寄せては返す波だって、扇子でいろんなことが表現できますよ
（11月22日、京都市左京区・京都文教短期大学付属小学校）

きょうは、若柳流一門の4人と一緒にここにやってきました。これから5人で協力しながら、みなさんに日本舞踊が一体どんなものか、体験していただきます。ところで、ぼくたちはみんな「若柳」が名字になっていますね。同じ流派の名取試験に合格すると、このように若柳○○と名乗ります。もちろん本名は別にあるんですよ。ちなみにぼくは「竹内英雄」といいます。若柳流のほかに花柳、藤間、西川に坂東流とか聞いたことあるでしょう。日本舞踊の流派は、とても多く、全国には200以上もあるといわれています。でも、していることは同じなのです。このことは覚えておいてください。

では、日本舞踊の歴史から始めます。古事記って知っていますか。その中に「天照大神の岩戸隠れ伝説」というのがあります。天照大神が天岩戸に隠れたため世の中が真っ暗になり、何とか出てきてもらうため、天宇受賣命という女神が、大勢の神様の前でにぎやかに踊ったというお話。神にささげた踊りです。うんと昔のことですが、これが日本舞踊の始まりといわれています。また、お盆には先祖を供養する盆踊りや豊作を祈る踊りがあり、長い年月のうちに、時代にあった斬新で躍動感のある踊りも生まれてきました。特に、400年ほど前、出雲の阿国という人の登場が画期的でした。京都の四条河原で「かぶき踊り」を演じ大評判に。これが今の歌舞伎につながります。歌舞伎は、大きく分けると芝居の部分と舞踊の部分で成り立っていますが、この舞踊の部分がぼくたちのしている踊りになったんです。そして、日本舞踊は、明治の文明開化や昭和の戦争の後、バレエやオペラといった欧米の文化も取り入れながら独自の発展を続け、日本文化を代表する今日の各流派の舞踊になったというわけです。

大体、日舞の歴史はわかってくれたかなあ。では、これから、ぼくの話をします。ぼくの家は、ちょうどぼくで5代、流派としては120年ほど続いています。4歳でけいこを始め、その年、初舞台を踏みました。それからずっと踊りをしていますが、実は、小学校の時は野球、中学、高校ではラグビーに夢中でした。全然踊りと違うのに、そのころは、野球やラグビーに打ち込み一生懸命だったのです。ぼくは、これが今になるとよかったなあと思っています。確かに勉強することも、大きくなったらこれをという目標も大事です。でも、成長の過程では、いろいろ経験することが何より大切だと思います。いろんなことに挑戦し、たくさんの人とふれ合い、友だちをいっぱいつくること。みなさんもぜひがんばって実行してほしいですね。

似合う？　日本舞踊習いたくなってきた

やった！　毛振りができたぞ

お辞儀、座り方…何かが見えてくる

さあ、それでは、けいこに移りましょう。

最初は、座って挨拶をする練習です。扇子を持ってやりますよ。全員立って。はい、右足を引きそのままひざを着きます。次きに左足も着きそれからお尻を下ろします。両ひざでドンとしてはいけませんよ。はーい、扇子を前に置いて、そこからお辞儀です。手を三角にして前につい

「祇園小唄」を踊ってみました

て、そこに鼻を入れるつもりでお辞儀して下さい。お辞儀の前には、手を着いたまま相手の顔を見てくださいね。では、繰り返しやってみましょう。うわあ、よくなってきましたね。ぜひお父さん、お母さんの前でやってみてください。

次は、扇です。扇子は日本の芸能ではいろんなことに使われ、日本舞踊でも一番基本的な道具です。この扇子が実にいろいろなものに変わり、化けるんですよ。さあ、これは何ですか上から下へはらはらと。そう雨ですね。小雨も大雨もほらこの通りです。こうすれば寄せては返す波に。花だって咲きますよ。手紙も本も自由自在。お酒はみんなにまた早いけど、銚子と杯の人に分かれてついだり飲んだりしてみましょう。

扇子はどうでしたか。それでは最後に、グループに分かれて、先生たちについて「祇園小唄」の踊りや、鈴を鳴らしたりさらに振るけいこをしてください。八木源かつらというかつら屋さんで借りた実際に舞台で使う獅子の毛もありますよ。毛振りにも挑戦してください。

◇◇◇

授業の締めに吉蔵さんは「そはやの三ツ面」を披露。文字通り三つの面を素早く取り換えながら演じられるコミカルな踊りに、教室は大爆笑となり、一気に日本舞踊が近づいてくる。「きょうをきっかけに、日本人の心とは何かも勉強してほしい」と吉蔵さん。日舞を通じて「日本」の何かが、見えてきたような。

（文・辻恒人、写真・栗本禎二）

授業を終えて

日本の優れた文化である日舞に興味をもってほしいと思い、実際にけいこをやってみました。どうかなと心配していましたが、子どもたちがすっとついてきてくれたのにはびっくりです。気持ちが素直で勘もいい。ほかの学校でもやりたくなりました。（若柳吉蔵）

京都新聞　検索　本紙ホームページでも動画を紹介しています。

次回は日本画家の上村淳之さんが京都市立常盤野小学校を訪れます。

リフィアがやってきた！

獅子の毛振りも「祇園小唄」もできたぞ。「ソフィアがやってきた！」第111回は、日本舞踊若柳流五世宗家家元の若柳吉蔵さんが、京都文教短期大学付属小学校へ。4年生39人に、お辞儀、座り方から始まる踊りのいろはをつけ、仕上げにコミカルな演目を披露する。雨や波、開花する花など何にでも化ける扇子の技や「面」の早変わりが見どころとなる若柳さんの踊りに、児童の目はまん丸。日舞の魅力にぐんぐん引き込まれていく。

今週のせんせい

日本舞踊若柳流五世宗家家元　**若柳吉蔵**さん　京都文教短期大学付属小学校

わかやぎ・きちぞう　1970年、三世宗家二代若柳寿童の三男として京都市に生まれる。初舞台は4歳での「勢い」。87年、五世家元吉蔵を襲名。父の後を受け宮川町歌舞会の「京おどり」の振り付け、指導を90年の第41回から担当。京都市芸術新人賞、舞踊批評家協会新人賞（2003年）、文化庁芸術祭優秀賞（08年）、松尾芸能賞舞踊新人賞（09年）受賞。東京・国立劇場で18日間催の「吉蔵の会」を控え準備に追われる中「自分の流派も大事だが、他流との協力も進め日本舞踊をさらに広めたい」と、日舞全体の振興に意欲を見せる。

行ってきました

京都文教短期大学付属小学校　1982年、開校。「やさしい人になってほしい」の願いのもと「明るく・正しく・伸よく」を教育目標に掲げる。法然上人の教えを大切にした心の教育「月影（かげ）教育」を実践している、古典文学で日本文化に親しみ、週1時間の英語教育で国際感覚の育成もめざす。児童数240人、勝部正雄校長。京都市左京区岡崎円勝寺町50。

せんせい答えて

踊っていて楽しいことは

Q 日本舞踊は何種類。
せんせい 神様の前で舞ったり、盆踊りのたぐいや歌舞伎舞踊、今の時代に合わせたものなど大体4種類です。

Q 踊っていて楽しいことは。
せんせい おけいこは大変苦しいけど、準備万端で本番に臨み、お客さんが喜んでくれた時ですね。

Q 何に気をつけていますか。
せんせい お父さん（二代寿童）からいわれた「わかりやすく楽しんでもらえるように」です。

Q 舞踊から学んだこと。
せんせい 外国の情報ばかりで、今ではわかりにくい昔の日本人や日本のことが学べました。

Q きょうなぜ「そはや」を。
せんせい みなさんに、面白くわかりやすく日舞を紹介しようと。

Q 面は自作。
せんせい 専門の職人さんに作ってもらいました。

Q 練習にかける時間は。
せんせい 時間は決めません。自分が安心できるまでやります。